【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】令和4年9月7日(2022.9.7)

【国際公開番号】WO2020/068381
【公表番号】特表2022-503800(P2022-503800A)
【公表日】令和4年1月12日(2022.1.12)
【年通号数】公開公報(特許)2022-004
【出願番号】特願2021-516635(P2021-516635)
【国際特許分類】
B05D 1/26(2006.01)
B05C 5/00(2006.01)
B05C 9/10(2006.01)
B05C 11/00(2006.01)
B05D 7/00(2006.01)
B05D 3/12(2006.01)
B05D 7/24(2006.01)
B05D 3/00(2006.01)
【ＦＩ】
B05D 1/26 Z
B05C 5/00 １０１
B05C 9/10
B05C 11/00
B05D 7/00 B
B05D 3/12 C
B05D 7/24 ３０１Ｐ
B05D 3/00 B
B05D 7/00 A
B05D 7/00 G

【手続補正書】
【提出日】令和4年8月30日(2022.8.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
布地を接着剤で接着する方法であって、
弁座と、前記弁座に向かって及び前記弁座から離れるように室内で摺動可能に移動するように構成された弁棒と、それぞれ前記弁座に隣接して配設されて前記室から前記接着剤を受け取るように構成された複数の出口流路と、を有するノズル組立体の前記室内へ、接着剤供給部から前記接着剤を受け取ることと、
前記弁棒を前記弁座に向かって移動させて前記複数の出口流路に隣接する前記弁座に前記弁棒を衝突させることによって、前記弁棒と前記弁座との間の衝突の運動量によって前記接着剤の別個の体積量が前記室から前記複数の出口流路を通して強制的に排出されるように、前記複数の出口流路から第１の布地上に前記接着剤を噴射することと、
第２の布地を前記第１の布地に当てて、前記第１の布地と前記第２の布地とを互いに接着させることと、

を含む方法。
【請求項２】
前記複数の出口流路の各々は、前記弁座に直に隣接して配設されて前記室から直に前記接着剤を受け取るように構成されており、
前記接着剤を噴射することは、前記弁棒を前記弁座に向かって移動させることと、前記弁棒を前記複数の出口流路に直に隣接した前記弁座上に衝突させ、その結果、前記接着剤の別個の体積量が、前記弁棒と前記弁座との間の前記衝突の運動量により、前記室から直に前記複数の出口流路を通して強制的に排出されることを含む、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記接着剤を噴射することは、前記複数の出口流路の各々を通して実質的に等しい量の前記接着剤を噴射することを含む、請求項１に記載の方法。
【請求項４】
前記第１の布地及び前記第２の布地は、両方とも単一の一体の布地片の一部であり、前記第２の布地を前記第１の布地に当てることは、前記単一の一体の布地片を折り畳むことを含む、請求項１に記載の方法。
【請求項５】
前記第１の布地は、前記第２の布地から分離している、請求項１に記載の方法。
【請求項６】
前記接着剤を噴射することは、３つの出口流路を通して前記第１の布地上に前記接着剤を噴射することを含む、請求項１に記載の方法。
【請求項７】
前記接着剤を噴射することは、２つの出口流路を通して前記第１の布地上に前記接着剤を噴射することを含む、請求項１に記載の方法。
【請求項８】
前記第１の布地上に噴射された前記接着剤が第１のパターンを形成するように、前記ノズル組立体を第１の構成で配向して前記接着剤を前記複数の出口流路から前記第１の布地上に噴射することと、
前記第１の布地上に噴射された前記接着剤が前記第１のパターンとは異なる第２のパターンを形成するように、前記ノズル組立体を前記第１の構成とは異なる第２の構成で配向して前記接着剤を前記複数の出口流路から前記第１の布地上に噴射することと、を更に含む、請求項１に記載の方法。
【請求項９】
布地を接着するために接着剤を噴射するためのノズル組立体であって、
入口と出口との間の内部に、前記入口を通して前記接着剤を受け取り、前記接着剤が前記出口を通って出ることを可能にするように構成されている室を画定する本体と、
前記出口に隣接して配設された弁座と、
前記室内で、前記弁座に向かって及び前記弁座から離れるように摺動可能に移動し、かつ前記弁座に接触するように構成された弁棒と、
前記室の前記出口と流体連通している複数の出口流路であって、前記複数の出口流路の各々が、前記弁座に隣接して配設されて前記室から前記接着剤を受け取るように構成されている、複数の出口流路と、を備え、
前記弁棒は、前記複数の出口流路に隣接した前記弁座に衝突し、その結果、前記接着剤の別個の体積量が前記弁棒と前記弁座との間の前記衝突の運動量によって前記室から前記複数の出口流路を通して布地上へ強制的に排出されるように、構成されている、ノズル組立体。
【請求項１０】
前記弁棒が前記弁座に向かって移動されるとき、前記室内の前記接着剤は、前記出口に向かい前記出口を通って移動される、請求項９に記載のノズル組立体。
【請求項１１】
前記複数の出口流路の各々は、前記室から実質的に等しい量の前記接着剤を受け取るよ

うに構成されている、請求項９に記載のノズル組立体。
【請求項１２】
前記弁棒が前記弁座と接触しているときに、前記接着剤が前記出口を通って前記室から出るのを防止するための、前記弁棒と前記弁座との間の流体密シールを更に備える、請求項９に記載のノズル組立体。
【請求項１３】
前記複数の出口流路は、前記複数の出口流路のうちの少なくとも一部が異なる方向に面するように、互いに対して外広がりにされている、請求項９に記載のノズル組立体。
【請求項１４】
前記複数の出口流路が、３つの出口流路を含む、請求項９に記載のノズル組立体。
【請求項１５】
前記複数の出口流路が、２つの出口流路を含む、請求項９に記載のノズル組立体。
【請求項１６】
前記複数の出口流路の各々は、前記弁座に直に隣接して配設されて前記室から直に前記接着剤を受け取るように構成されており、
前記弁棒は、前記複数の出口流路に直に隣接した前記弁座に衝突し、その結果、前記接着剤の別個の体積量が前記弁棒と前記弁座との間の前記衝突の前記運動量によって前記室から直に前記複数の出口流路を通して前記布地上へ強制的に排出されるように、構成されている、請求項９に記載のノズル組立体。
【請求項１７】
布地上に接着剤を噴射するためのアプリケータシステムであって、
前記接着剤を収容するための材料供給部と、
前記材料供給部から前記接着剤を受け取り、前記布地上に前記接着剤を噴射するように構成されたノズル組立体であって、
入口と出口との間の内部に、前記入口を通して前記接着剤を受け取り、前記接着剤が前記出口を通って出ることを可能にするように構成されている室を画定する本体と、
前記出口に隣接して配設された弁座と、
前記室内で、前記弁座に向かって及び前記弁座から離れるように摺動可能に移動し、かつ前記弁座に接触するように構成された弁棒と、
前記室の前記出口と流体連通している複数の出口流路であって、前記複数の出口流路の各々が、前記弁座に隣接して配設されて前記室から前記接着剤を受け取るように構成されている、複数の出口流路と、を備える、ノズル組立体と、を備え、
前記弁棒は、前記複数の出口流路に隣接した前記弁座に衝突し、その結果、前記接着剤の別個の体積量が前記弁棒と前記弁座との間の前記衝突の運動量によって前記室から前記複数の出口流路を通して前記布地上へ強制的に排出されるように構成されている、アプリケータシステム。
【請求項１８】
前記材料供給部は、前記材料供給部内の前記接着剤を加熱するように構成された加熱要素を更に含む、請求項１７に記載のアプリケータシステム。
【請求項１９】
前記ノズル組立体は、前記布地に対して６自由度で配向されるように構成されている、請求項１７に記載のアプリケータシステム。
【請求項２０】
前記複数の出口流路の各々は、前記弁座に直に隣接して配設されて前記室から直に前記接着剤を受け取るように構成されており、
前記弁棒は、前記複数の出口流路に直に隣接した前記弁座に衝突し、その結果、前記接着剤の別個の体積量が前記弁棒と前記弁座との間の前記衝突の前記運動量によって前記室から直に前記複数の出口流路を通して前記布地上へ強制的に排出されるように、構成されている、請求項１７に記載のアプリケータシステム。